

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公表番号】特表2017-512824(P2017-512824A)

【公表日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-561288(P2016-561288)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

A 0 1 P 1/00 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 33/12 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/02

A 0 1 P 1/00

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 33/12 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月21日(2018.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物であって、

a)

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～1:2である前記成分；

b) 非イオン性界面活性剤、又は陽イオン性界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

を含む、前記組成物。

【請求項 2】

非イオン性界面活性剤が、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含み、陽イオン性界面活性剤が、アルキルトリメチルアンモニウム塩を含む、請求項 1 に記載の消毒剤組成物。

【請求項 3】

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物の各アルキル基が、8～10個の炭素原子を含有し、アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物のアルキル基が、12～18個の炭素原子を含有する、請求項 2 に記載の消毒剤組成物。

【請求項 4】

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物のアルキル基が、それぞれオクチル基である、

請求項 2 に記載の消毒剤組成物。

【請求項 5】

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、請求項 4 に記載の消毒剤組成物。

【請求項 6】

封鎖剤がEDTAを含み、pH調整剤がクエン酸ナトリウムを含む、請求項 1 に記載の消毒剤組成物。

【請求項 7】

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物に希釈することができる消毒剤濃縮物であって、前記組成物が、

a)

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物(ここで、化合物の各アルキル基は、8～10個の炭素原子を含有する)、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物(ここで、アルキル基は、12～18個の炭素原子を含有する)

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～1:2である前記成分；

b) 非イオン性界面活性剤、又は陽イオン性界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

を含む、前記消毒剤濃縮物。

【請求項 8】

非イオン性界面活性剤が、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含み、陽イオン性界面活性剤が、アルキルトリメチルアンモニウム塩を含む、請求項 7 に記載の消毒剤濃縮物。

【請求項 9】

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物のアルキル基が、それぞれオクチル基である、請求項 8 に記載の消毒剤濃縮物。

【請求項 10】

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、請求項 9 に記載の消毒剤濃縮物。

【請求項 11】

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物に希釈することができる消毒剤濃縮物であって、

a) 40～60重量%の、

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～約1:2である前記成分；

b) 1～20重量%の、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含む非イオン性界面活性剤、及びアルキル基が8～18個の炭素原子を有するアルキルトリメチルアンモニウム塩を含む陽イオン性界面活性剤からなる群から選択される界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

から本質的になる、前記濃縮物。

【請求項 12】

封鎖剤がEDTAであり、約2～約8重量%の量で存在する、請求項 11 に記載の消毒剤濃縮

物。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 の消毒剤濃縮物及び水を含む消毒用組成物であって、消毒剤濃縮物1部当たり、水64部～水1024部である、前記消毒用組成物。

【請求項 1 4】

消毒成分a)が、約800ppm～約1600ppmの範囲で存在する、請求項 1 に記載の消毒用組成物。

【請求項 1 5】

表面を消毒する方法であって、請求項 1 に記載の消毒剤組成物を表面上に適用するステップ、消毒剤組成物をしばらくの間表面に接触させたままにするステップ、及び組成物を表面から取り除くステップを含む、前記方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

本発明はその特定の実施形態を参照することにより上に記載されたが、本明細書に記載された本発明の概念から逸脱することなく多くの変更、修正及び変形をすることができる。したがって、添付される特許請求の範囲の精神及び幅広い範囲に含まれる、全てのこのような変更、修正及び変形を包含することが意図される。

本願は、以下の態様を含む。

[項 1]

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物であって、

a)

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～1:2である前記成分；

b) 非イオン性界面活性剤、又は陽イオン性界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

を含む、前記組成物。

[項 2]

非イオン性界面活性剤が、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含み、陽イオン性界面活性剤が、アルキルトリメチルアンモニウム塩を含む、項 1 に記載の消毒剤組成物。

[項 3]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物の各アルキル基が、8～10個の炭素原子を含有し、アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物のアルキル基が、12～18個の炭素原子を含有する、項 2 に記載の消毒剤組成物。

[項 4]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物のアルキル基が、それぞれオクチル基である、項 2 に記載の消毒剤組成物。

[項 5]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、項 4 に記載の消毒剤組成物。

[項 6]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物とアルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物の重量比が、約2:1～約1:1である、項3に記載の消毒剤組成物。

[項 7]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物とアルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物の重量比が、約1.5:1である、項6に記載の消毒剤組成物。

[項 8]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、項7に記載の消毒剤組成物。

[項 9]

アルコキシル化アルコール界面活性剤が、4～6モルがアルコキシル化されている、項2に記載の消毒剤組成物。

[項 1 0]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物がジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含み、アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物のアルキル基が12～18個の炭素原子を含有し、ジメチルジアルキルアンモニウム化合物とアルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物の重量比が約1.5:1であり、アルコキシル化アルコール界面活性剤が4～6モルがアルコキシル化されている、項2に記載の消毒剤組成物。

[項 1 1]

封鎖剤がEDTAを含み、pH調整剤がクエン酸ナトリウムを含む、項1に記載の消毒剤組成物。

[項 1 2]

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物に希釈することができる消毒剤濃縮物であって、前記組成物が、

a)

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物(ここで、化合物の各アルキル基は、8～10個の炭素原子を含有する)、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物(ここで、アルキル基は、12～18個の炭素原子を含有する)

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～1:2である前記成分；

b) 非イオン性界面活性剤、又は陽イオン性界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

を含む、前記消毒剤濃縮物。

[項 1 3]

非イオン性界面活性剤が、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含み、陽イオン性界面活性剤が、アルキルトリメチルアンモニウム塩を含む、項12に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 4]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物の各アルキル基が、8～10個の炭素原子を含有し、アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物のアルキル基が、12～18個の炭素原子を含有する、項13に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 5]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物のアルキル基が、それぞれオクチル基である、項13に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 6]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、項15に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 7]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物とアルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物の重量比が、約2:1～約1:1である、項14に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 8]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物とアルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物の重量比が、約1.5:1である、項17に記載の消毒剤濃縮物。

[項 1 9]

ジメチルジアルキルアンモニウム化合物が、ジメチルジオクチルアンモニウムクロリドを含む、項18に記載の消毒剤濃縮物。

[項 2 0]

アルコキシル化アルコール界面活性剤が、4～6モルがアルコキシル化されている、項13に記載の消毒剤濃縮物。

[項 2 1]

2012年の使用時希釈試験により測定した場合に、接触死滅時間が5分以下である消毒剤組成物に希釈することができる消毒剤濃縮物であって、

a) 40～60重量%の、

(i)ジメチルジアルキルアンモニウム化合物、及び

(ii)アルキルジメチルベンジルアンモニウム化合物

の混合物を含む消毒成分であって、成分(i)と成分(ii)の重量比が4:1～約1:2である前記成分；

b) 1～20重量%の、2～8モルがアルコキシル化されているアルコキシル化アルコール界面活性剤を含む非イオン性界面活性剤、及びアルキル基が8～18個の炭素原子を有するアルキルトリメチルアンモニウム塩を含む陽イオン性界面活性剤からなる群から選択される界面活性剤；

c) 溶媒；

d) 場合により封鎖剤；並びに

e) 場合によりpH調整剤

から本質的になる、前記濃縮物。

[項 2 2]

アルコキシル化アルコールが、4～6モルがアルコキシル化されている、項21に記載の消毒剤濃縮物。

[項 2 3]

封鎖剤がEDTAであり、約2～約8重量%の量で存在する、項21に記載の消毒剤濃縮物。

[項 2 4]

項21の消毒剤濃縮物及び水を含む消毒用組成物であって、消毒剤濃縮物1部当たり、水64部～水1024部である、前記消毒用組成物。

[項 2 5]

消毒剤濃縮物1部当たり、水128部～水512部である、項22に記載の消毒用組成物。

[項 2 6]

消毒成分a)が、約800ppm～約1600ppmの範囲で存在する、項1に記載の消毒用組成物。

[項 2 7]

表面を消毒する方法であって、項1に記載の消毒剤組成物を表面上に適用するステップ、消毒剤組成物をしばらくの間表面に接触させたままにするステップ、及び組成物を表面から取り除くステップを含む、前記方法。